











## <mark>"酒のつまみにならない話 in あおば" 開催される</mark>

例年開催されている、あおば病院でのオープンミーティングですが、令和6年度より「酒のつまみにならない話」として5月に開催しました。

今回のテーマは「お酒を飲むことで失ったもの・回復したことで得たもの」として、講師、入院患者さん、ご家族、外来患者さん、回復者様と、お酒の問題をともに考える人たちでの仲間として支えあう形で、体験談を行ってもらいました。

皆さんの声では「同窓会のようで、温かさを感じた」「参加すると元気が出る」と、笑顔が絶えない、いい機会が得られたのではないかと思います。





〈ARP担当 板﨑 祐貴〉

#### 改善事例の紹介" 療養病棟 屋根部 簡易散水"

令和2年から療養病棟の屋根部へ、市販で販売されている散水チューブを流用(合計50m) して、日中に限り暑さ対策の一環として散水をしております。施工は当院の営繕係が担い、上水 道を利用しての散水方式です。

効果として散水部の天井裏の温度は散水していない天井裏に比べ10度以上温度差がある事が確認され、散水によって電気量が削減される等の効果は証明出来てはおりませんが、天井内温度が低減されている事で、空調機器への負担減につながっているのは間違いないのではと、素人ながら考えている次第です。

但し、一部(20m分)で上水道を使用している事で、水道代も気になる所ではありますが、散水以降大幅に使用量が増える傾向は認められておりません。更に2年毎に散水チューブの交換も必要ですが、安価な市販品を流用した事で総コストは1万円弱程度です。今後も営繕隊は知恵と工夫で、患者さんの療養環境並びに、職員の働きやすい環境づくりに微力ながら努めて参りたいと考えております。

〈総務課 営繕係〉



## 療養病棟からの花だより

2024年4月より療養病棟に異動となりました。療養病棟は他の病棟と違って患者さんが食事するホールから中庭をながめることができる唯一の病棟です。そこからの景色は緑鮮やかでいい気分にさせてくれます。ここに色とりどりの花があれば素敵な眺めになると思いました。花が好きな患者さんもいて草花を小さな花瓶に入れて楽しまれているのを見て、中庭に季節に合わせた花が咲けば喜んでもらえると思い花を植えてみました。マリーゴールド、ヒャクニチソウ、ケイトウ、朝顔、ミニトマト5種類を植えてみました。

マリーゴールドの名の由来は、聖母マリアの祝日にいつも咲いている花なので「マリア様の黄金の花」という意味で名付けられました。この祝日は宗派によって年10回程もあるので、一年を通して長く咲く花として知られていたことがわかります。花言葉は「勇者」「変わらぬ愛」だそうです。

ヒャクニチソウは初夏から秋まで咲き続けいろんな色と種類があるため長く楽しんでもらえる 花です。

ケイトウは熱帯原産の春まき1年草で、夏から秋の強い日射しのもとで色鮮やかな花をつける 多様な品種があります。色づく部分は茎が変形した花序で、形によりトサカけいとう、羽毛けい とう、ヤリけいとうに分けられています。漢字で「鶏頭」と書きます。花の様子が赤い鶏の トサカのように見えたことからついた名前です。赤いケイトウの花言葉は色褪せぬ恋、情 愛だそうです。

紫色の朝顔は旺盛にツルを伸ばしてネットや支柱に絡みながら11月ころまで生長します。今後の予定は秋からはパンジーなどの種まきを始めようと計画しています。ミニトマトは収穫ができます。中庭を散歩しながらミニトマトを収穫し冷蔵庫に冷やしている患者さんもいます。

療養生活の中で植物の生長を観察しながらほんの少し自然に触れることができる環境を大切に していきたいと思います。



〈療養病棟:菊里 法興〉

## 病院内部行事のお知らせ

あおば病院 "あおば祭"

# 10月26日 (土) 午前中に限り開催予定

但し、今年度は長引く新型コロナウイルス感染リスク回避の為、誠に申し訳ありせんが 入院患者さん並びに職員に限定し開催させて頂きますのでご了承下さいませ。

なお、今後の感染拡大次第では中止も有り得る事から、最終判断を9月13日とさせて 頂きます事を併せてお知らせ致します。

#### 病院の理念

「ひと」 その人らしさを大切に

「こころ」 こころのリハビリを通して

「和」
地域に和をひろげます

#### 病院の基本方針

一、人権の尊厳
こころを病む方々の「ひと」としての尊厳を何よりも尊重し、患者さんやご家族

に、やさしさと思いやりの心で接します

一、人間的成熟 医療にかかわるプロとしての自覚と誇りを忘れず人間的成熟を目指し、たゆまぬ

努力を続けます

一、チーム医療 全ての職種の職員は、それぞれの専門性と役割を果たすと共に互いに連携し合い、

より質の高い医療サービスを提供します

一、地域社会との連携 地域との情報交換を密にし、予防と安らぎの場を提供しながら、社会復帰を通し

た生活活動支援に積極的に取り組みます

